

配布先：岡山県政記者クラブ、岡山市政記者クラブ

発表日	令和6年4月26日
発表者	国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

令和6年河川功労者表彰の受賞者が決定！

令和6年6月4日(火)に行われる河川功労者表彰式で、国土交通省中国地方整備局(岡山河川事務所)からの推薦者の方が表彰されます。

河川功労者表彰は、昭和24年から公益社団法人日本河川協会が行っている河川分野における表彰制度です。治水・利水・環境の観点はもとより、歴史・文化、河川愛護、国際貢献、学術研究、地域振興等の観点から、広く社会に対して功績のあった個人や団体を表彰しています。

今年の表彰者の総数は、個人65、団体33、合計98の個人及び団体で、国土交通省中国地方整備局(岡山河川事務所)からの推薦者の方(1名)が受賞されます。

なお表彰式については、下記のとおり実施されます。

1. 日時 令和6年6月4日(火) 13時00分～
2. 場所 砂防会館別館「シェーンバツハ・サボー」
(東京都千代田区平河町2-7-4)
3. その他
 - ✓ 当日の取材にあたっては、報道者席が用意されます。
 - ✓ 参考として、公益社団法人日本河川協会の発表資料を添付しております。
 - ✓ 国土交通省中国地方整備局(岡山河川事務所)からの推薦による、受賞者の方の紹介は次ページを参照下さい。

問い合わせ先：国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

副所長 米田 昌史
(担当) 流域治水課長 高橋 亮丞

TEL 086-223-5101 (代表)
086-223-5187 (流域治水課直通)

URL <https://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

岡山河川事務所では、X(エックス)による情報発信を行っています。



岡山河川事務所X

～受賞者のご紹介～

【国土交通省 中国地方整備局（岡山河川事務所）からの推薦者】

氏名	にしがき まこと 西垣 誠
職業	岡山大学 名誉教授
功績等	地盤環境解析学、地下水工学の専門家として、吉井川、旭川、高梁川水系の河川整備計画の策定・変更、「小田川合流点付替え事業」の環境影響評価、平成30年7月豪雨で堤防決壊した高梁川水系小田川及び県管理支川の原因究明、復旧工法等に至るまで、専門的な視点から助言を行い、河川の整備、環境保全等に貢献された。
表彰規程の該当条項	第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
住所	岡山県倉敷市

令和 6 年 4 月 26 日
公益社団法人 日本河川協会

令和 6 年河川功労者の決定 及び 表彰について

令和 6 年河川功労者が決定いたしました。
河川功労者の表彰については、令和 6 年度日本河川協会定時社員総会において行います。
なお、当日の取材にあたっては、報道者席を用意しております。

< 表彰式 >

日 時 : 令和 6 年 6 月 4 日 (火) 13 時 00 分から
(定時社員総会は、15 時 40 分から)

場 所 : 砂防会館別館 シェーンバツハ・サポー

記

1. 令和 6 年河川功労者表彰について ----- 資料- 1
2. 令和 6 年河川功労者表彰者名簿 ----- 資料- 2

* 過去の表彰式については、下記ホームページをご参照ください。
<https://www.japanriver.or.jp/kyoukai/kourousya/2023/kourousya2023.htm>

【問合せ先】

公益社団法人 日本河川協会
〒102-0083
東京都千代田区麹町 2-6-5
麹町E.C.Kビル 3F
担当：志賀、小島
電話：03-3238-9771
FAX：03-3288-2426

令和 6 年河川功労者表彰について

1. 公益社団法人 日本河川協会では、昭和 24 年から河川に対する国民の理解を深めるため、当協会の河川功労者表彰規程に定める下記事項に該当する個人及び団体について、毎年、定時社員総会において河川功労者表彰を行っております。
2. 表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等からご推薦いただき、当協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定しています。
3. 令和 6 年の河川功労者は、資料－2 のとおりです。
表彰者の総数は、個人 65、団体 33、合計 98 の個人及び団体となっております。
4. これにより、令和 6 年までの表彰者は、4,438 の個人及び団体となります。

記

- 第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
- 第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合
- 第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
- 第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合
- 第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

令和6年河川功勞者表彰者名簿

公益社団法人 日本河川協会

令和6年河川功労者表彰総括表

事 項	個 人	団 体	計
第1号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合		1	1
第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合	27		27
第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合	8		8
第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合	1	31	32
第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合	25		25
第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合		1	1
第7号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合			0
第8号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合	4		4
合 計	65	33	98

令和6年河川功労者表彰者名簿

第1号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合

(団体1)

名称	功績等	住所
和船友の会	平成7年の発足以来、かつて河川や湾で活躍していた江戸前和船の操船及び修繕技術の保全活動に努めるとともに、一般客の乗船体験にも取り組み、歴史を活かした地域の活性化と河川文化の発展に貢献された。	東京都江東区

第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合

(個人27)

氏名	職業	功績等	住所
西野雅亮	農業	昭和59年から長年にわたり、馬淵川水系馬淵川 内舟渡第一排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	青森県八戸市
羽場豊広	農業	昭和58年から長年にわたり、岩木川水系旧大峰川 大峰川第五排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	青森県弘前市
工藤勝敏	農業	昭和58年から長年にわたり、岩木川水系旧大峰川 大峰川第一排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	青森県弘前市
みやがわ 芳宏	農業	昭和55年から長年にわたり、北上川水系猿ヶ石川 前郷第2排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岩手県花巻市
たに 藤裕明	会社役員	平成15年の盛岡市長就任以来、長年にわたり北上川ダム管理協議会会長として、また河川事業関係団体の役員として、北上川水系及び東北地方管内の直轄ダム、補助ダムの数多くの事業及び河川改修事業を推進するために各種要望活動を行うなど河川事業の推進に尽力された。	岩手県盛岡市
ちば 葉明彦	—	昭和55年から長年にわたり、北上川水系北上川 木伏排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岩手県盛岡市
すずき 篤	—	昭和55年から長年にわたり、北上川水系北上川 開運橋排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岩手県盛岡市
はぎ 原 達雄	前 大衡村長	平成27年に大衡村長に当選以来長年にわたり、「吉田川床上浸水対策特別緊急事業」を推進するとともに、江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会理事等として、流域の治水事業等の推進に尽力されるとともに、流域の安全・安心の確保と地域活性化に貢献された。	宮城県黒川郡大衡村
あさの 野元	前 大和町長	24年間という長年にわたり、大和町長として、また江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会副会長等としても流域の治水事業等の推進に尽力されるとともに、「吉田川床上浸水対策特別緊急事業」にも寄与されるなど、治水事業の推進による流域の安全・安心の確保と地域活性化に貢献された。	宮城県黒川郡大和町
かみ やま まさ はる	農業	昭和58年から長年にわたり、北上川水系旧北上川の加々巻排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	宮城県登米市
や 矢口 清康	農業	昭和54年から長年にわたり、最上川水系鮭川の川口第二排水樋管において、水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県最上郡鮭川村
あ 阿彦 弘	—	昭和49年から長年にわたり、最上川水系最上川 清川第三排水樋管において、水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県東田川郡庄内町
いし 川 浩光	—	昭和58年から長年にわたり、最上川水系最上川福沢第2排水樋管の水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県東置賜郡高畠町
おお 大木 孝次	自営業	昭和56年から長年にわたり、最上川水系須川寺津水門の水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県天童市

氏名	職業	功績等	住所
黒坂 寿広	農業	昭和54年から長年にわたり、最上川水系真室川の木ノ下第二排水樋管において、水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県最上郡真室川町
八 欽 俊 哉	農業	昭和54年から長年にわたり、最上川水系真室川の木ノ下第二排水樋管において、水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県最上郡真室川町
つた 川 和 芳	会社員	平成10年から長年にわたり、堰等管理員として新潟大堰および信濃川水門の操作・点検及び管理運転点検を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、信濃川の洪水対策及び災害の軽減に貢献された。	新潟県新潟市
井 田 一 由	会社員	昭和62年から由良川水系由良川光谷川樋門の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	京都府綾部市
いわ 岩 本 芳 幸	—	昭和54年から長年にわたり、淀川水系木津川渦之樋樋門の水門等水位観測員として強い責任感をもって施設の点検・操作に従事し、過去幾多の洪水において正確かつ迅速な操作を行い、災害の軽減に貢献された。	京都府木津川市
もり 森 嶋 祥 久	—	昭和59年から長年にわたり、淀川水系木津川渦之樋樋門の水門等水位観測員として強い責任感をもって施設の点検・操作に従事し、過去幾多の洪水において正確かつ迅速な操作を行い、災害の軽減に貢献された。	京都府木津川市
きの 木 下 雅 夫	会社員	昭和62年から長年にわたり、揖保川水系栗栖川北河原排水樋門の水門等水位観測員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	兵庫県たつの市
むら 村 上 友 昭	自営業	昭和62年から長年にわたり、揖保川水系林田川舎利田排水樋門の水門等水位観測員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	兵庫県たつの市
やす 安 田 公 徳	自営業	昭和62年から長年にわたり、揖保川水系林田川誉排水樋門の水門等水位観測員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	兵庫県たつの市
おか 岡 本 俊 光	—	昭和57年から長年にわたり、渡川水系四万十川「百笑樋門」操作員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	高知県四万十市
おか 岡 本 和 幸	—	昭和57年から長年にわたり、渡川水系四万十川「百笑樋門」操作員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	高知県四万十市
と 戸 梶 眞 幸	日高村長	平成20年に日高村長就任以降、仁淀川改修期成同盟会会長等として、仁淀川流域の治水安全度の向上のために治水事業の推進及び啓発活動に尽力されるとともに、「日高村水害に強いまちづくり条例」の策定にも寄与されるなど、地域の安心・安全の確保と地域の活性化に貢献された。	高知県高岡郡日高村
さか 坂 山 敏 二	会社員	九州全体の河川事業の推進、治水安全度向上に尽力され治水と文化財保護の両立を図るという難題を解決されるとともに「九州防災エキスパート会」にも参画し、河川事業推進上の課題や災害時の復旧工法の指導・助言にも取り組むなど、九州の実務担当者の技術力向上、河川技術・防災技術の継承に貢献された。	福岡県久留米市

第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合

(個人8)

氏名	職業	功績等	住所
たか 高 橋 健 児	会社役員	31年間という長年にわたり、水防団員として水害から地域住民の生命・財産を守るために活動し、被害の防止と軽減に尽力されるとともに、地域住民に対して啓発活動を行い、水害の恐ろしさと、水防活動の重要性を伝えるなど、水防意識の醸成にも貢献された。	岐阜県岐阜市
はやし 林 勉	農業	就任以来43年7ヶ月もの長年にわたり、団員の指導育成並びに水害の防止に尽力されるとともに、近年の度重なる集中豪雨等による出水時には団長として管内を巡視し、常に河川の水位等に気を配るなど、水防意識の醸成にも貢献された。	岐阜県岐阜市
いけ 池 谷 政 彦	自営業	平成12年旧浜北市水防団第7分団に入団以来、部長、副分団長を経て、平成22年からは分団長に就任し、平成30年分団長退任後も引き続き後輩の指導にあたるなど、地域防災の第一線として住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	静岡県浜松市
おお 大 石 幸 伸	会社員	平成16年4月浜松市水防団芳川分団に入団以来、河川巡視や水防工法の実施等献身的に活動を行い、平成27年4月に浜松市水防団副団長に就任後は団長を補佐し、地域防災の柱である水防団活動の中核を担うなど、住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	静岡県浜松市

氏名	職業	功績等	住所
おおしまいくお夫 大島郁夫	会社役員	淀川左岸水防事務組合水防団分団長として、長年にわたり水災防御の第一線で活躍し、豊かな経験と卓越した指導力により、団員の指導育成と水防組織の充実強化に努め、地域住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	大阪府大阪市
かつら たけし 桂 武史	農 業	昭和49年に大和川右岸水防事務組合住吉第二分団に入団以来、長年にわたり水防活動に従事し、平成30年からは分団長として卓越した指導力を持って分団員を統率し、若年団員の育成に努めるなど防災教育にも貢献された。	大阪府大阪市
やまもと たかあき 山本隆章	自 営 業	長年にわたり、淀川右岸水防事務組合水防団淀川第1水防区分団長として水災防御の第一線で活動し、蓄積した経験と見識、指導力をもって水防団員の指導育成、組織強化に努め、地域住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	大阪府大阪市
たかぎ しんぞう 高崎 信三	—	平成17年から防災エキスパート、平成19年から水防専門家として、吉野川並びに那賀川水系の関係市町における消防団員等への水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。	徳島県板野郡上板町

第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合

(個人1)

氏名	職業	功績等	住所
なかむら ゆきお夫 中村幸夫	農 業	長年にわたり、二級河川瑞沢川において、年間定期的に法面や河川敷部分の清掃や草刈りなどの活動を行い、河川環境の保全及び地域住民の河川愛護意識の高揚に貢献された。	千葉県長生郡睦沢町

(団体31)

名称	功績等	住所
栃木県立馬頭高等学校水産科	河川環境の保全に関する調査研究や教育活動などを通じ、市民団体・地域住民・関係機関と連携し、地域の河川環境に関する普及、啓発に貢献された。	栃木県那須郡那珂川町
おっぺ川を守る会	平成25年の設立以来、一級河川越辺川において除草・清掃等の河川美化活動を定期的に行うなど、河川環境の保全及び河川愛護活動に貢献された。	埼玉県入間郡越生町
もとあら川カッパの会	元荒川にて鴻巣市と協働し市内の小中学生とともに清掃活動や環境教育を行い、市民の環境保全意識を高めるのに加え、元荒川の美化に貢献された。	埼玉県鴻巣市
とねうなが利根運河の生態系を守る会	平成11年の設立以来、長年にわたり流山市・野田市に位置する利根運河の自然環境の保全に取り組むとともに、自然観察会や「運河塾」と銘打った講演会を定期的に開催するなど、地域住民等の河川に対する環境意識の醸成に貢献された。	千葉県流山市・野田市
きゅうなかがわとうろうなが旧中川灯籠流し実行委員会	平成11年から毎年、終戦記念日に実施している旧中川の灯籠流しを通じ、東京大空襲犠牲者の慰霊とともに近隣小学生への水環境整備学習や地域住民による河川清掃等を行い、河川環境の保全及び地域活性化に貢献された。	東京都江戸川区
こいでがわ小出川彼岸花団体協議会	平成21年の創設以来、小出川において、河川敷の清掃等を毎年実施するとともに、堤防沿いに数百万株の彼岸花を植栽・保護し、小出川彼岸花まつりを毎年開催するなど、河川環境の保全及び河川愛護活動に貢献された。	神奈川県藤沢市
ふじみみずべ富士見水辺愛護会	平成12年の設立以来、和泉川の草木橋から赤坂橋を中心に川辺の草刈りや樹木の伐採・剪定、川中の清掃を行うほか、広場の花壇にも手を入れるなど、地域の憩いの場としての河川環境維持に貢献された。	神奈川県横浜市
にしかわごかん西川護岸美化愛護会	新坂歩道橋から亀貝橋の間の両岸延べ6,000メートルの区間で毎年3回、雑草の刈り取りやごみ拾いなどの清掃活動を行うとともに、花木の植栽を通して河川環境の保持にも取り組まれ、『西川ふれあいロード』と命名されるほどの快適な水辺ロードとして地域住民に親しまれるなど、河川環境の保全及び河川愛護活動に貢献された。	新潟県新潟市
きたもりもとちようかい北森本町会・森下川芝桜愛護会	50年以上にわたり、二級河川森下川流域において、堤防等の草刈りや清掃活動を継続して行うほか、平成29年からは町内有志による河川アドプト団体「森下川芝桜愛護会」により、芝桜の管理も行うなど、河川環境の保全及び景観向上に貢献された。	石川県金沢市北森本町
さいとう藤建設株式会社	昭和61年より毎年、甲府市内を流れる一級河川濁川や周辺側溝において河川清掃や除草作業を地域住民と行い、川の生態系の維持や河川の環境美化・保全に貢献されているほか、地域コミュニティの醸成にも寄与された。	山梨県甲府市

名 称	功 績 等	住 所
に しな さん こ 仁科三湖を美しくする会	昭和49年の設立以降長期間かつ広範囲にわたり限なく清掃、草刈りといった清掃活動を行っており、令和5年度は湖周辺に限らず舟を使って湖内の除草まで行うなど、年間20回に及ぶ活動に精力的に取り組む、仁科三湖(青木湖、中綱湖、木崎湖)という象徴的な河川環境の美化に貢献された。	長野県大町市
特定非営利活動法人 てんりゅうがわ 天竜川ゆめ会議	長年にわたり継続して河川の自然保護・愛護活動等の多岐にわたる企画を実施し、その結果アレチウリ等外来種の減少、河原への流域市民の回帰等に変化をもたらし、環境保全回復に関わる人材育成に貢献された。	長野県駒ヶ根市
たいし まち や き さわがわ 太子町八木沢川河川愛護会	平成15年11月に設立され、長年にわたり一級河川八木沢川において、河川敷内の雑草木刈払い、清掃及び土砂上げ等の河川愛護活動を実施し、地域住民の環境美化意識の高揚に努められるとともに河川環境美化に貢献された。	長野県須坂市
エクセラン高等学校 環境科学コース	平成20年以降、一級河川薄川の筑摩橋から小松橋の間において、河川に生息する植物や水生生物の調査・研究を行い、河川環境保全に関する知識を養うとともに、地域住民と連携した活動にも取り組み、他の模範となるなど、河川愛護活動及び環境保全意識の向上に貢献された。	長野県松本市
きたたけ 吉田川を美しくする会桜ヶ丘支部寿町一丁目自治会	平成2年の活動開始以降、関市内の吉田川において、河川清掃や樹木剪定等の環境美化活動を継続的に実施し、長年にわたり地域の河川愛護活動と環境美化に貢献された。	岐阜県関市
社会福祉法人 びとく かい 美德会	平成26年から令和2年度までは土岐川右岸河川敷の清掃、除草等の美化活動を、令和3年度以降は土岐川右岸河川敷の清掃を毎年継続して実施し、河川環境の保全及び河川愛護に貢献された。	岐阜県多治見市
お り がわ 小里川ダム里山教室	長きにわたり、小里川ダム湖畔の環境整備を毎年継続して実施しているほか、ダムへの関心を高めるためのイベントを開催するなど、河川環境の保全及び河川愛護に貢献された。(令和2年河川協力団体に指定)	岐阜県瑞浪市
いりえ 入江地区まちづくり推進委員会	静岡県清水区入江地区の7自治会から設立以降、長年にわたり二級河川巴川ほか3河川の清掃活動を毎年継続的にを行い、河川愛護精神の普及及び河川美化保全に貢献された。	静岡県静岡市
み し ま 三島里親会	平成18年から長年にわたり二級河川馬込川の草刈りや清掃活動等河川の美化・保全活動に取り組まれ、沿川住民に憩いの場所として親しまれるなど、河川愛護及び河川美化の推進に貢献された。	静岡県浜松市
や ど がわ 矢戸川をきれいにする会	地域を流れる矢戸川の環境を保全するため、年間を通し、矢戸川法面の草刈りと矢戸川に接続する水路敷の一部の草刈りやごみ拾いなどの清掃活動を行うとともに、矢戸川を通じた地域住民との交流活動にも取り組み、地域の河川環境の保全や河川美化の推進に貢献された。	愛知県大口町
しょうげ がわ 庄下川ラブリバー委員会	平成16年に設立以来、様々なイベントや河川清掃活動等を毎年実施し、庄下川を「ふるさとと川」として守り、未来に受け継いでいくための活動を長年にわたり行うなど、河川愛護意識の向上に貢献された。	兵庫県尼崎市
ふくいけがし ひ の がわ 福生東地区日野川を美しくする会	平成16年に設立以来、米子市内を流れる一級河川日野川において、流域住民が一体となり清掃活動を行うなど、継続的に河川愛護活動や河川環境の保全に貢献された。	鳥取県米子市
おく いずも ふ せ 奥出雲町立布勢小学校	平成26年度から宍道湖流入河川調査に参加し、水質調査や公民館との連携によるオオサンショウウオの生態調査を継続しており、学習発表会で生き物が生息しやすい環境の保全を地域住民に呼びかけるなど、環境保全意識の醸成に貢献された。	島根県仁多郡奥出雲町
やすぎ あか え 安来市立赤江小学校	平成18年度から中海流入河川調査に参加し、課題を設定して学習に取り組み、その成果及び身近な川の環境を守ってきたいという思いを分かりやすくまとめ、学習発表会や授業公開日などで地域住民に呼びかけるなど、環境保全意識の醸成に貢献された。	島根県安来市
い お お たに 伊尾小谷地区自治会	平成10年より長年にわたり、世羅郡世羅町大字小谷のギフチョウ保護区において保全活動を実施し毎年ギフチョウの生息を確認するなど、八田原ダム貯水池周辺の環境保全に貢献された。	広島県世羅郡世羅町
みや の 宮野観光会	昭和44年の設立以来、二級河川樫野川において河川の清掃及び草刈等の美化活動を継続的に実施するとともに、小学校との協働によるホテルの育成やアユの放流に取り組むなど、河川愛護意識の高揚や河川環境保全に貢献された。	山口県山口市
上野 あい 愛リバー会	団体認定以降、地域内で高齢化が進行している現在に至るまで、毎年3回地域の方々が協力し合い実施する上野地区の河川愛護運動を継続するなど、地域住民の河川愛護意識の高揚に貢献された。	愛媛県伊予市
さわやかボランティアーズ4班	平成13年5月の設立以来、熊本市内を流れる坪井川において月1回のペースで、河川敷のごみ拾いや草刈りなどの清掃活動を継続して行い、これらの活動を通じて、地域住民の自然環境への関心を高めるなど、河川環境の美化及び河川愛護活動に貢献された。	熊本県熊本市
特定非営利活動法人 みずのとらべ隊	緑川水系の歴史や文化を継承しながら河川環境の保全と創造に取り組み、流域の環境向上・文化の発展に寄与するとともに、次世代を担う子どもたちに自然体験活動を通して河川に対する意識の向上を促し、その健全育成に貢献された。	熊本県上益城郡御船町
おおいたがわ しょうないとう ぶ 大分川漁業協同組合 庄内東部支部	大分県由布市内町東部地域を中心に25年間にわたり、毎年11月の第1日曜日に川のごみ拾い及び草刈りなどの清掃活動を行っているほか、月1回の不法投棄等の監視活動を実施するなど、大分川流域の河川環境の美化に貢献された。	大分県由布市

名 称	功 績 等	住 所
か くさ 加 草 1 区 自 治 公 民 館	二級河川鳴子川において、河川堤防沿いの草刈り、ゴミ拾いなどの環境美化活動を平成9年から約26年間にわたり実施しており、河川環境の保全や地域における河川愛護意識の醸成に貢献された。	宮崎県東臼杵郡門川町

第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合

(個人25)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
おか 村 俊 邦 お 岡 村 俊 邦	北海道科学大学 名 誉 教 授	生態土木学や環境緑化学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、河川水辺の国勢調査アドバイザー、尻別川流域委員会の委員等を務め、河川整備の推進や河川環境の保全に貢献された。	北海道札幌市
きよ し たつ ひろ 許 士 達 広	会 社 員	河川工学や水資源工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、尻別川リバーカウンセラー、尻別川流域委員会の委員等を務め、河川行政の推進等に貢献された。	北海道札幌市
た なか ひとし 田 中 仁	東 北 大 学 総 長 特 命 教 授	水工学、環境水理学の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、宮城県内河川整備学識者懇談会座長、令和元年台風第19号を踏まえた今後の治水対策の在り方検討会座長等を務め、河川整備の推進に貢献された。	宮城県仙台市
おお さわ や す お 大 澤 八 州 男	日 本 野 鳥 の 会 会 員 (顧 問)	鳥類専門家として平成12年3月から最上川水系流域委員会に参画し、最上川水系河川整備計画策定・変更等に係る助言を行うなど河川事業の進捗に貢献された。	山形県山形市
やま だ ただし 山 田 正	中央大学研究開発機構 機構教授 中央大学名誉教授	水理学・水文学・河川工学の専門家として集中豪雨の発生メカニズム解明、雲物理実験と降雨形成過程の研究、XバンドMPレーダーによるゲリラ豪雨のリアルタイム観測実現等顕著な研究成果をあげられるとともに、国・地方公共団体・学会主催の防災、河川・湖沼の整備、研究・技術開発に関わる委員会に委員長・委員として参画し、水・河川・防災行政の推進に貢献された。	千葉県四街道市
かわ べ ひろし 川 邊 洋	新 潟 大 学 名 誉 教 授	砂防工学の専門家として平成18年より長年にわたり、滝坂地すべり対策検討委員会の委員を務め、大規模且つ複雑な機構を有する地すべり地の対策事業計画の検討・審議においては、地すべりに関する豊富な知見をもとに助言を行うなど、事業の推進に貢献された。	神奈川県横浜市
ち ば あきら 千 葉 晃	日 本 歯 科 大 学 名 誉 教 授	阿賀野川自然再生モニタリング検討会委員、阿賀野川水系流域委員会委員、河川水辺の国勢調査(鳥類)アドバイザーを務められており、主に鳥類の視点から阿賀野川らしい自然環境の保全・再生を行ううえで具体的な方策提案を行うなど、事業の推進に貢献された。	新潟県新潟市
たけ うち あきら 竹 内 章	富 山 大 学 名 誉 教 授	海洋地質学や構造地質学の専門家として、平成12年から「黒部川ダム排砂評価委員会委員」として携われ、平成31年からは「同委員長」も務め、出し平ダムと宇奈月ダムが連携して排砂を行う他に例を見ない連携排砂について学識的な知見により助言を行い、社会基盤施設の持続的な機能維持と海及び河川の環境保全に貢献された。	富山県富山市
おお ほん ひとし 大 原 均	—	鳥類・魚類の専門家として天竜川上流域の河川環境保全に関して技術的指導を行い、希少種の保全・保護活動に取り組まれる一方、鶯渡峡景観・環境検討会委員として松尾・下久堅地区治水事業計画の策定にも助言を行うなど、河川環境の保全及び河川整備の推進に貢献された。	長野県下伊那郡高森町
ささ もと しょう じ 笹 本 正 治	長 野 県 立 歴 史 館 特 別 館 長	日本史・文化財の専門家として、また天竜川水系流域委員会副委員長として河川整備計画の計画見直しに寄与するとともに、天竜川上流における地域とのかかわり、暮らしや歴史、流域の文化交流等歴史的経緯をとりまとめるなど、川と人とのつながりに関する助言を通じ、河川整備事業の推進に貢献された。	長野県松本市
た なか ひろ みち 田 中 博 通	東 海 大 学 名 誉 教 授	流体工学の専門家として狩野川流域懇談会や狩野川水系流域委員会および大井川水系流域委員会において委員・委員長を務め、河川整備計画の策定を行い、さらに社会資本整備審議会河川整備基本方針検討小委員会の委員として気候変動を踏まえた河道計画を検討する上での指導・助言を行うなど、河川整備の推進に貢献された。	静岡県静岡市
いし だ のり こ 石 田 典 子	三重大学非常勤講師 中京大学非常勤講師	矢作川水系総合土砂管理検討委員会、中部地方ダム等管理フォローアップ委員会、長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会などの委員として、ダム建設に関する環境への影響及び保全対策、環境影響評価に係る評価書等のとりまとめに寄与し、ダム事業の推進に貢献された。	愛知県愛知郡東郷町
こ ばやし けい すけ 小 林 圭 介	滋 賀 県 立 大 学 名 誉 教 授	植物生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、淀川水系流域委員会委員、大戸川ダム環境保全委員会委員長などを歴任し、植生や生態系への影響等に関する助言を通じて、社会資本整備の推進に貢献された。	滋賀県彦根市
き ひら はじめ 紀 平 肇	元 団 体 役 員	淀川の淡水魚類・貝類の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、淀川水系流域委員会、天ヶ瀬ダム再開発事業生物環境WG等に参加し、淡水魚類・貝類の影響等に関する助言を通じて、社会資本整備の推進に貢献された。	大阪府大阪市
さわ こう へい 澤 孝 平	明石工業高等専門学校 名 誉 教 授	地盤工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、揖保川及び加古川堤防調査委員会委員長、紀の川堤防調査委員会副委員長などを歴任し、河川堤防の土質等に関する助言を通じて社会資本整備の推進に貢献された。	大阪府豊中市
あや し ろう 綾 史 郎	大 阪 工 業 大 学 名 誉 教 授	河川工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、市民活動等を通じた河川環境の保全に取り組まれ、淀川水系流域委員会委員や淀川環境委員会委員等を歴任し、河川環境への影響等に関する助言を通じて、河川整備計画の策定や社会基盤整備の推進に貢献された。	大阪府寝屋川市

氏名	職業	功績等	住所
せい け やすし 清 家 泰	島根大学エクステリアセンター 特任教授	水質の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、国土交通省、島根県の水質に関する各種の検討会や「斐伊川放水路事業環境影響評価」のモニタリング、「斐伊川水系河川整備計画」の策定・点検に至るまで、専門的な視点から助言を行い、河川の整備、河川環境の保全等に貢献された。	島根県松江市
にし がき まこと 西 垣 誠	岡山大学 名誉教授	地盤環境解析学、地下水工学の専門家として、吉井川、旭川、高梁川水系の河川整備計画の策定・変更、「小田川合流点付替え事業」の環境影響評価、平成30年7月豪雨で堤防決壊した高梁川水系小田川及び県管理支川の原因究明、復旧工法等に至るまで、専門的な視点から助言を行い、河川の整備、環境保全等に貢献された。	岡山県倉敷市
なか こし のぶ かず 中 越 信 和	広島大学 名誉教授	森林、植物の専門家として、国土交通省、広島県の河川等の各種検討会や「中国地方ダム等管理フォローアップ委員会」、「太田川水系河川整備計画」の策定・点検に至るまで、専門的な視点から助言を行い、河川の整備、河川環境の保全等に貢献された。	広島県安芸郡熊野町
こん どう あき お 近 藤 光 男	徳島大学 名誉教授	都市・地域計画の専門家として、地域づくりに寄与する河川事業の観点から、「とくしま川づくり委員会」の委員・委員長を務めるとともに、県管理河川の河川整備計画の策定に尽力するなど、河川整備の推進に貢献された。	徳島県阿南市
や た べりゅう いち 矢 田 部 龍 一	愛媛大学 名誉教授	土質科学・防災の専門家として、重信川水系の河川整備計画策定への参画をはじめ、重信川の自然再生や賑わい創出のためのかわまちづくりなどの各種委員会等を通じて助言を行うなど、河川整備の推進に貢献された。	愛媛県松山市
あき やま じゅ いち ろう 秋 山 壽 一 郎	九州工業大学 名誉教授	河川工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、遠賀川学識者懇談会、球磨川堤防調査委員会、九州河川技術懇談会等、多数の委員会等で委員長・委員を歴任し、遠賀川をはじめとする九州の河川整備の推進に貢献された。	福岡県福津市
こ ばやし いち ろう 小 林 一 郎	熊本大学 名誉教授	長年にわたり白川・緑川学識者懇談会委員長及び国土交通省BIM/CIM推進委員会委員を歴任し、緑川流域における治水・利水・環境等幅広い分野において技術的指導・助言を行うなど九州の河川整備の推進に貢献された。	熊本県熊本市
ひ の かつ のり 日 野 勝 徳	—	大分県レッドデータブック作成において調査員として大分県各地に赴き両生類分野の絶滅危惧種について調査を行うほか、河川水辺の国勢調査アドバイザーとして、樹木伐採に関する小動物への影響について専門的な立場で助言を行うなど、河川環境の保護・保全に貢献された。	大分県大分市
すぎ お さいとる 杉 尾 哲	宮崎大学 名誉教授	五ヶ瀬川支川北川の河川生態系変動予測について顕著な研究成果をあげられるとともに、河川生態学術研究、一ツ瀬川水系濁水対策、耳川水系総合土砂管理など国・地方公共団体・学会主催の河川整備、研究・技術開発に関わる委員会に委員長・委員として参画し、河川環境保全と河川整備の推進に貢献された。	宮崎県宮崎市

第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合

(団体1)

名称	功績等	住所
はったばら あしだ こ 八田原ダム芦田湖周辺活用連絡協議会	平成8年に設立以降、毎年継続してダム上下流の交流をはかる各種イベントを開催し八田原ダム・芦田湖周辺地域の活性化を図るとともに、イベント開催前には「八田原ダム・芦田湖周辺一斉清掃」として一般の参加者も募り清掃活動を行うなど、地域活性化及び河川環境保全に貢献された。	広島県世羅郡世羅町

第8号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

(個人4)

氏名	職業	功績等	住所
あお やま とし き 青 山 俊 樹	元国土交通事務次官	平成16年に日本河川協会の理事に就任されて以来、河川行政に長年携わってこられた見識に基づき、16年間にわたり理事又は常任理事として、協会の適切な運営及び発展に貢献された。	千葉県柏市
おお しま かず や 大 島 一 哉	元株式会社建設技術研究所 代表取締役会長	平成28年に日本河川協会の理事に就任されて以来、建設コンサルタント業界において長年指導的立場で勤務してきた見識に基づき、4年間にわたり理事として協会の適切な運営及び発展に貢献された。	東京都中野区
まつ だ よし お 松 田 芳 夫	前日本河川協会会長	平成10年に日本河川協会の理事に就任されて以来、河川行政に長年携わってこられた見識に基づき、26年間にわたり理事、副会長そして会長として、協会の適切な運営及び発展に貢献された。	東京都目黒区
く すみ とき お 久 住 時 男	前見附市長	平成20年に日本河川協会の理事に就任されて以来、市長として地方行政に携わってきた見識に基づき、12年間にわたり理事として協会の適切な運営及び発展に貢献された。	新潟県見附市

令和6年4月時点